

# 令和3年度事業計画

## I. 令和3年度事業経営の基本的考えについて

### ①基本理念

障害のある方たちが個人の尊厳を保持し、誇りと輝きをもって暮らし、働き、活動できる地域社会の構築のために支援活動をしてまいります。

### ②運営方針

利用者、職員、役員が「今できることを法人全体で社会に還元」しながら、共に生きる喜びと感動に満ちた人生を送れる事業経営をしてまいります。

### ③法人のビジョンと本年度の位置づけ

合併後、4年目の事業年度を迎えます。令和2年度は、現在も引き続くコロナ禍で先行きが不透明な中、各事業所において事業の見直しを図り、時勢に即した対応をしてきたところです。

生産年齢人口の減少による人材確保の困難さが言われている一方、地域の衰退、家族機能のさらなる脆弱化等による生活課題の複雑化・困難化により社会福祉の意義や社会福祉法人の責務はますます大きなものとなってきています。このような社会変化に対応していくためには法人の基盤強化が不可欠です。令和3年度も各事業所の強みを生かし、弱みを克服するための取り組みを進め、事業所内・事業所間の関係をより柔軟かつ強固なものとし、法人一丸となって事業の充実を図ってまいります。

### 短期ビジョン

- ・障害のある方やご家族の抱える高齢化の問題は喫緊の課題です。安心して日常を送れる生活の場づくりに向けた施策を進めます。
- ・職員の人材育成に尽力し、利用者と共に育みあえる魅力ある職場づくりと支援力の向上を図ります。行政・民間等の研修及び当法人内での研修を企画して職員のキャリアアップをおこないながら、法人体制の強化を図ります。

### 中期ビジョン

- ・コロナ禍による生活様式の変化や社会活動の鈍化に伴い困窮する方々を支えるため、社会福祉法人として地域社会に貢献する取り組みを進めていきます。
- ・法人として、利用者ご本人・ご家族等支援を必要とする方々に個々人のニーズに寄り添った質の高い支援をおこないながら、透明性のある創造的かつ健全で時代変化に対応できる事業スケールの強化や社会の福祉的要望の大きい事業への参入を視野に入れ、引き続き多様な事業体を構築してまいります。

## II. 社会福祉事業について

### 就労支援事業

令和3年度も全事業所で新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、販売を工夫し、工賃の財源となる収益確保を目指してまいります。また、4月から消費税を含めた販売価格の総額表示の義務化にも対応してまいります。

#### 1. ぴあ拠点

##### ぴあ

- ・就労継続支援事業（B型） 定員34名

##### ①弁当事業

お弁当の製造・販売では、4月より生活支援員1名を雇用し、生産体制をより強化・整備してまいります。安心・安全で美味しいと言われる製品の質のますますの向上を図ります。また、利用客の声、ニーズ把握の手段として、箸袋に付したQRコードによるアンケートを販売場所ごとに設定することで利用客のニーズを細かに把握し、製品に反映してまいります。

##### ②燻製事業

燻製製品の製造・販売では、継続して製品の品質・生産の安定化を図り、美味しい「伊達の燻製」を提供し、ブランド力・販売力を高め一般市場への参入を図ります。

##### ③ベーカリー事業

ぴあベーカリーでは、引き続き安定した質・量での国産小麦を使用した保存料無添加のパンの製造をおこなってまいります。製品の開発・改良、増産はもとより、行政庁舎や支援学校といった大口の受注が見込める販路の開拓を図ります。

#### ④受託事業

PC 端末の基板解体・玉葱の袋詰め作業等の受託作業においては、利用者の習熟度も高まり作業効率の向上が見受けられます。引き続き、作業未体験の利用者の中からも参加者を増やしてまいります。

#### ・就労移行支援事業 定員 6 名

一般就労を希望している利用者の職業準備性を高めながら企業就労につなげていきます。また、引き続き、支援学校の依頼を受けての就労アセスメントをおこないます。

## 2. レストランぴあ拠点

### レストランぴあ

#### ・就労継続支援事業（B 型） 定員 20 名

新型コロナウイルス感染症の影響により来客数が従来からの 3～5 割程度に落ち込んでおり、外食産業全体がコロナ禍以前の状況に戻ることは困難であるという見通しの中で収益を確保するため、テイクアウトメニューや庁舎内のみならず県庁近隣への配達等に注力し、工賃の財源確保に努めます。

レストランとしての営業は、引き続き感染防止対策を徹底しながら、宮城県の地元食材を使用し、和食・洋食メニューを提供するサービスによる生産活動をおこなってまいります。レストランぴあのこだわり重視のメニューと人に優しいおもてなしを提供していくことで集客につなげます。県庁職員のみならず来庁者等、多くのお客様に喜ばれる季節感あふれる美味しいランチを提供してまいります。

行政と連携した毎月第 3 水曜日の「みやぎ水産の日」や 11 月の食育月間への取り組み、令和 3 年度に延期となった「第 40 回全国豊かな海づくり大会」とのタイアップ等で来客を増やし、憩いのひと時をお客様と共有してまいります。

## 3. まどか拠点

### まどか

#### ・就労継続支援事業（B 型） 定員 30 名

新型コロナウイルス感染症の影響で 2020 東京パラリンピックが 1 年程度の延期となりましたが、仙台市の聖火採火式場である「ぴあてらす」では、東日本大震災からの復興と共生社会の実現を掲げた「たびだちの火」の式典がより充実したものになるよう準備を整え、パラリンピックを応援していきます。

#### ①レストラン事業

ぴあてらすは、2 年目の営業に入っておりますが、引き続き前浜の海産物と自家農園の農産物を中心とした旬の地場産品を使用した四季を感じられるメニューを提供してまいります。また、テイクアウトメニューの強化や近隣の名取市役所、専門学校等を中心にお弁当の販売・配達をおこなうことで新たな取引先を確保します。近隣住宅地へのポスティングはもとより SNS を利用した広報を積極的におこなうことで認知度向上を図り、利用客や地元人材の獲得を図ります。

#### ②ベーカリー事業

ぴあぶらんは、好評を博している国産小麦を使用した保存料無添加のパンやオリジナルクッキー、季節感のあるケーキ等を商品開発も含め引き続き製造し、安定した売上を確保できるよう販路を開拓してまいります。また、クリスマスやバレンタインといったイベント毎に訴求力の高い数量限定のケーキ等を受注生産し、売上向上につなげてまいります。

#### ③農園事業

野菜栽培・販売作業では、設置したビニールハウスのメリットを最大限に生かし、より計画的な作付けをおこない、減農薬による栽培の実践に取り組みます。また、収益性の高い農作物の生産及び加工、販売を實踐し、弁当の製造・販売事業やレストラン事業へ生産物や加工品を提供してまいります。

④清掃事業（外部・内部請負清掃）

食品加工作業・販売作業で衛生面の維持が難しい利用者のための作業として清掃業務を受託してまいります。

4. まどか西中田拠点

まどか西中田

・就労継続支援事業（B型） 定員10名

就労支援事業所としての再構築を目指し、働く力と社会性を身に付けていきます。

また、「明るく、楽しく、快適に」利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動を中心にその知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的におこないます。

①野菜の販売

まどか農園や近隣地域で生産された野菜を販売します。

②PC 端末の基板解体

小型家電を分解・分別し、レアメタルを取り出し、資源の再利用をする事業として PC 端末等の基板を分解・分別する作業をおこないます。また、並行して再利用可能な PC 端末の洗浄等をおこないます。

③その他受託事業

法人内外からの作業を受託します。（近隣保育園の清掃、古新聞の再利用化）

・生活介護事業 定員10名

穏やかな時間の流れに寄り添ったきめ細やかな日中活動支援の充実を図り、利用者の状況に応じて適宜見直しをおこないます。また、常時介護等の支援が必要な方に、食事及び排せつの介助、創作的活動等を提供し、生きがいと誇りのある生活支援を模索していきます。月2回程度、発声やリズムダンスによる音楽療法も引き続きおこなってまいります。

自立通所が難しい方には引き続き送迎支援をおこないます。

5. 遠見塚拠点

あしすとぴあ

・指定特定相談支援事業

主に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための支給決定にあたって行政に提出するサービス等利用計画等を作成してまいります。令和3年度も引き続き各事業所をセルフプランでご利用の方にサービス等利用計画等の導入を支援してまいります。また、相談支援事業所連絡会にも積極的に参加し、相談支援専門員のスキルアップとネットワーク拡大を図り、障害のある方たちの「みんなが輝くためのあしすと」を目指してまいります。

・指定障害児相談支援事業

主に障害のある児童を対象に障害児支援利用計画等を作成し、相談支援をおこなってまいります。虐待が疑われる児童について行政ときめ細やかに連携の上、親・子それぞれへ支援してまいります。

ぴあびーんず とおみ定員4名

・共同生活援助事業

障害のある方たちにとって生活の場としての重要な事業になっています。各家庭の諸事情に対応できるよう支援体制を整え、充実した共同生活がおこなえるよう事業を運営してまいります。

また、令和2年度に全事業所でおこなったグループホームに関するアンケートの結果に基づき、各拠点近隣地域での新設を含めた施設の拡充を進めてまいります。

Ⅲ. 広報活動について

より多くの方たちに法人の活動状況を知っていただくために令和3年度はホームページを全面リニューアルし、事業所の情報や活動の内容をより見やすく、積極的に発信していきます。毎日の販売弁当の内

容やイベント等については随時 Facebook を利用し、発信していきます。

各事業所のリーフレットやショップカードを各店舗に備え付けることでロコミ等での周知をひろげてまいります。また、事業所見学者等に配布することで事業所の特色をよりイメージしやすくし、利用につなげます。

#### **IV. 地域生活支援事業（余暇活動）について**

- ・コーラス活動（ぴあま〜る）

引き続き、在仙アーティストの猪狩太志氏の指導の下、月2回のペースでコーラス練習会を重ね、日常生活の自信と誇りにつながるよう発表の場を設けていきます。「とっておきの音楽祭2021」「宮城野うたまつり」「福祉まつり ウェルフェア2021」等での発表を予定し、輝ける自己表現の場とします。今後、社会との懸け橋になるように利用者・ご家族・後援会会員の方だけでなく多くの方の参加を促してまいります。

特に昨年延期となった「とっておきの音楽祭」は20周年を迎えることもありフィナーレ等にも参加してまいります。

- ・卓球練習会

スポーツに勤しむ機会の少ない利用者の方々の体力向上とストレス解消を図り、障害者スポーツ大会の参加を目指して活動をおこないます。

- ・社会活動参加事業について

①利用者の方たちと職員が集う暑気払い、クリスマス・忘年会、芋煮会、バーベキュー等、楽しい時間を共有していただけるように新型コロナウイルス感染症の状況を観察しながら機会を作ってまいります。

②研修旅行について

令和3年度の研修旅行は、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、感染症対策に万全を期した日帰り社会研修旅行を企画してまいります。

#### **V. その他**

令和3年度も利用者・職員等の健康維持のため、健康診断を引き続き実施し、利用者の方々には嘱託医の金野公一医師及び沖田内科医院の沖田医師のご指導の下、健康管理に留意してまいります。